作成:2017.06.21

市政報告 07月号

5月定例議会における代表質問

・本市不在の四条畷駅周辺整備計画について

大東市が行なっている四条畷駅周辺整備計画の概要が明ら かになりましたが、以前、私が長畑ひろのり News vol.072 で報告したものとまるっきり同じでした。四条畷駅の所在地 は大東市ですので仕方ないのかも知れませんが、計画を見る 限り動線は全て大東市の都合の良いように成っています。

何故、本市の市民が多く利用する四条畷駅でありながら計 画に対し本市として何ら意見を言うことが出来なかったのか、 私が平成25年9月定例議会で行なった一般質問で明らかに なっていますので、簡単にまとめて報告します。

長畑質問】四条畷駅周辺整備について、本市としてどの ように考えているのか。

当時の担当者】費用負担を覚悟で臨まなければならない、 地域振興の観点から本市の考えを提起する考えがある。 前市長】大東市長からの様々な呼びかけや意見交換があ ると思うので、その時に本市のことを考えて意見を言う。

結果、この5月定例議会において4年近く何も動いていな かったのが明らかになると共に、新たな考えが示されました。

東市長】計画が進展しつつあるものの、可能な限り大東 市との連携を図るべきとの考えに至った。今後は、大東 市・四條畷市広域連携会議の場で、詳細に及ぶ議論を重 ねることとし、本件の具体な関わりを見出す。

四条畷駅周辺整備完成予想図



くすのき広域連合について

質問】くすのき広域連合のメリットについて尋ねると、 構成3市での運営により総務部門等の効率化と答弁され たが、市民としてそれが実感としてわかるのは第1号保 険料の基準額。平成24年から26年の第5期では、そ の額が4、998円と大阪府平均の5、303円を下回 っており効果はあったように思える。しかし、平成27 年から29年の第6期では6、376円と大阪府平均の 6,025円を上回っており、順位をつけると、くすの き広域連合を1自治体と考えて府内41市町村のうち、 高い方から4番目。この数字を見るだけでも自治体単独 で運営している方が基準額が安く無理があるように思え る。そこで、効率化に一定効果があると考えている見解 を改めて尋ねる。

東市長】メリットを市民に理解いただくためには、保険 料の額は指標の一つ。しかし、第5期から6期へ介護保 険事業計画が移行するに際し保険料が約27%上昇した ことは高齢者の増加により給付費が膨らんでいくこと、 第5期の給付が想定以上に上がり大阪府財政安定化基金 から借り入れしたため、その償還金が保険料に反映した こと、また、介護報酬地域区分が10%から15%にな ったことが主な要因。当初に述べたスケールメリットの 詳細は、事務処理の効率化に伴う人件費や事務費等のコ スト削減、構成3市が蓄積してきた特性やノウハウ、情 報等の資源が共有できるといった効果を認識している。

以上、私が考えた質問(質問者は幹事長)に対しての市長 答弁ですが、納得できなかったため以下の要望をしました。

要望】高齢者の増加で給付費が膨らむのは、どの自治体 も同じ。スケールメリットの詳細は理解するが、保険料 の額に反映されないのであれば広域を組んでいる値打ち がない。改めて構成3市で広域化について考えて欲しい。

※くすのき広域連合設置の趣旨(公式ホームページより) 守口市、門真市、及び四條畷市の3市は、保険財政基盤をより強固なもの とし、公平・公正な住民本位の介護保険制度を確立するため、平成12年 4月から実施される介護保険事務を広域連合で共同処理する事にしました。

毎月発行している"長畑ひろのり News"を、約半年ごとに送っています。 送付の必要な方は、送付先を FAX もしくは e-mail にてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280 e-mail sky@nagahata.jp

http://nagahata.jp









予算の考え方(旅費について)

3月8、9日の2日間、平成29年度予算の審議が、予算 決算常任委員会において行われました。この委員会の委員は 議長を除く全議員ですが、議長は委員と同じ席で傍聴し、全 ての質問や意見、また要望が出尽くした後、委員長よりコメ ントを求められます。当時、議長であった私は、委員や出席 している職員の皆様に以下の内容(要旨のみ)を述べました。

議員は、今回、また過去においても多くの質問をして きた。その質問に対する答弁を聞きながら出来れば直ぐ にでも反映して欲しい、誰もがそういう思いでいる。

市からすれば金額を変えることなく予算を通さなければならない。そういう事を繰り返しているうちに、議員は予算に反映してもらえるよう決算の審議で意見や要望を訴える、そういう状況になっているのは確か。

仕方ないことではあるが、今回の予算書を読んでもどこまで昨年行われた決算での意見や要望が反映されているのか良くわからない。

しかし、今回審議されている予算は、市長が変わられたと言うことで例年と違い骨格予算と当初から聞いている。1月20日に就任されてから、この短い期間に引き継ぎを含め精査されたとしても市長の思いを数字に込めることは無理だったと思う。

そう言うことで、市長の思いは5月の市政運営方針を 発表される時に補正予算として組み入れる、そのことも 十分理解している。

であるならば、私が冒頭から述べている内容が今回に関してはクリアーできる。つまり、多くの議員が意見や要望を述べた内容で、市としても賛同し予算組みをする上で問題がないのであれば、5月の補正予算に反映させることが間違いなくできる。

それをやって頂けるのであれば、東市長の元、この秋に行われる決算の審議、それ以降についても市として議員の意見や要望に賛同できるものについては次の予算に反映して頂ける、そう議会は判断できるのではないか。

以上、この点を議長として要望する(※1)。

そこで1点だけ報告します。平成29年度予算の審議(冒頭で述べた通り、私は議長として審議中に発言はできません)の中で同僚議員が市長の旅費について予算が低すぎると言われました。内容は、後に書かれています平成25年3月定例議会の私の質問とほぼ同じでしたので省略しますが、その結果、5月18日の議会で上程された補正予算において、議長として要望した通り(※1)反映されていました。

それは、市長及び副市長の秘書事務の中の「旅費」にかかる予算で、3月に示された当初の予算では400,000円だったのが、補正で300,000円が追加され、結果として平成29年度は700,000円となりました。

実は平成25年3月定例議会において、前市長に対し私は 次の質問(議事録より一部抜粋)をしました。

今回の所信表明を見せて頂きますと、直接、国や大阪府などに出向き、積極的な要望活動を行うと述べていながら、8ページでは逆の事が述べられています。市長交際費、旅費等について減額措置を行ってまいるという事なんですけども、市長の交際費が増えたところで、市長の飲み食いや遊びに、また旅費が増えたところで、家族と一緒に観光旅行に行っているとは誰も思いません。

我が会派は、無所属で市長になられていない以上、市 長交際費や旅費を今まで以上に使って頂き、それこそ田 中前市長のように東京へ何度も行って、この市のために 予算を引っ張ってきてもらわないと困るのですが。

しかし、当時は残念ながら私の思いは伝わらず、その後の 補正で新たに予算が追加されることはありませんでした。

ちなみに、平成29年度における近隣6市の旅費です。 寝屋川市:1,650,000円 交野市:519,000円 大東市:1,151,000円 守口市:人事課予算内で不明 門真市:1,161,000円 枚方市:職員課予算内で不明

下記グラフは本市のここ10年の旅費の経緯です。田中市 長時代が主に55万円で晩年は50万円と体力の低下ととも に活動が減っていったのは理解できます。しかし、平成26 年度予算が計上された時に2割も前年より下がっていたのに 納得ができず、先の私の平成25年3月の定例議会における 平成26年度予算についての質問となったのです。



市長の旅費については、いろいろな意見があると思います。 少しでも低くし市民のために使う、そういう考え方も理解できます。しかし、トップにしかできない活動に重きをおいて考えるのがベストではないかと私は思うのです。













































